

K E R I N G



プレスリリース

2017年9月4日

2017年文化遺産の日、セーヴル通り40番地の本社を公開： 歴史、芸術、創造との特別な出会い

第34回ヨーロッパ文化遺産の日にあたる9月16日(土)、17日(日)の両日、
セーヴル通り40番地に本社を構えるケリングとバレンシアガが、
社屋の入る歴史的建造物を一般に公開。

ピノー・コレクションの中から厳選された現代アートと
バレンシアガのアーカイブに保存されているオートクチュール作品の展示に加え、
この建造物の歴史を訪ねるバーチャルリアリティの旅をお届けします。

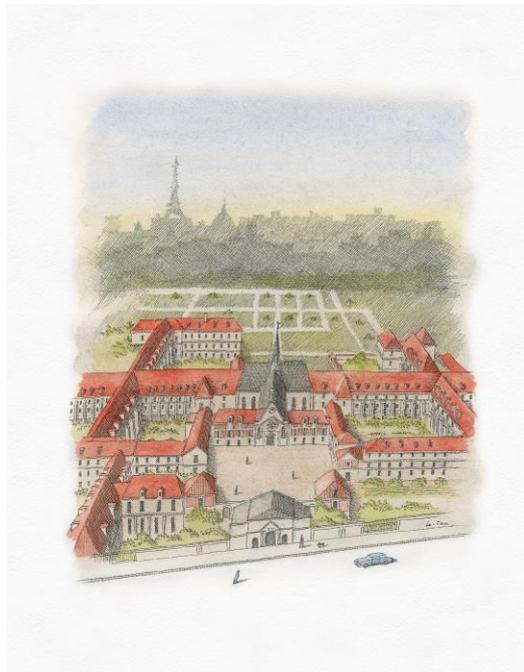


イラスト:ピアール・タン、2017年

2016年にケリングは、ヨーロッパ文化遺産の日への初参加を果たし、11,000人を超える見学者がセーヴル通り40番地に訪れました。その成功を受けケリンググループは再び、歴史的遺産、芸術、創造を融合した旅を通してこの建造物の素晴らしい遺産を一般公開することになりました。

1634年に建造された当時、この建造物は貧しさや不治の病のため他の病院から見放された患者の世話をするホスピスとして使われていました。1878年には“ラエネック病院”となり、2000年に病院の機能がジョルジュ・ボンピドゥー欧州病院に引き継がれるまでその役割を全うしました。パリの歴史遺産の1つでもある歴史的なこの建物は、後の大規模な修復プロジェクトにより建造当時の建築美が復元されています。若い世代と文化遺産というテーマで開催される第34回文化遺産の日に向け、この建造物の歴史を学ぶバーチャルリアリティ体験の提供を目指し、ケリングは歴史学者や、フランスのスタートアップ企業のTimescope社とコラボレーションをしました。120年前に戻り、ラエネック病院の生活を知ることのできる短い旅を紹介します。

KERING



歴史的遺産と現代アートの結びつきを見所にしたいというケリングの会長兼 CEO を務めるフランソワ＝アンリ・ピノーの思いから、ピノー・コレクションから新たに選んだ作品をラエネック教会に展示します。今回のアーティストはすべて、日常的に見られるものから芸術作品を作り出すという共通のアプローチを共有し、私たちの暮らすこの世界に存在する日常的なリアリティとつながる作品となっています。

「Faire Avec」と題し、エル・アナツイの『Depletion and New Layout (2009 年)』、イ・スンテクの『Godret Stone (1958 年)』、スポード・グプタの『Very Hungry God (2006 年)』、チェン・ゼンの『A Village Without Borders (2000 年)』、『Concentration Chair (1999 年)』、『Cocoon of the Void (2000 年)』、デイヴィッド・ハモンズの『Forgotten Dream (2000 年)』、『Central Park West (1990 年)』、スイースター・ゲーツの『All Day I Stare at the Cross of Malevich and Wish I Were a Painter (2013 年)』を展示します。

また、クリストバル・バレンシアガ制作によるオートクチュール作品もメゾンに展示されます。シンプルで抑制の効いたシルエットを探究し続けたクリストバル・バレンシアガの人生そのものが垣間見える、デザイナー直筆のサインが入り 23 点を含む、オートクチュール作品が会場に展示されます。見学者は、建造物の歴史に浸りながら、全面プリントや刺繍が施された作品などに表現されるクリストバル・バレンシアガのクリエイティブな世界を体験することができます。

「2016 年の文化遺産の日にセーヴル通り 40 番地を公開して大盛況を博したことから、この場所の特別な美しさを新しい方法で再発見してもらいたいと考えていました。この2つの特別展示は、ラグジュアリー業界にいるケリンググループの2つの基本的な価値、すなわち歴史的遺産と創造を融合しています。1 つは現代アートシーンの中から世界各地の異なる文化を背負う著名なアーティストによる作品を、もう1つは当時もっとも前衛的なクリエイターの1人であったクリストバル・バレンシアガの作品を通して表現しています」
フランソワ＝アンリ・ピノー



詳しくはこちら：press.kering.com/40-rue-de-sevres

ハッシュタグ：#Kering #40Sevres #JEP

見学について

2017年9月16日(土)～9月17日(日) 午前10時～午後6時(入場無料)

住所：パリ7区セーヴル通り40番地

地下鉄：ヴァノー駅(10号線)、セーヴル・バビロン駅(12号線、10号線)、
デュロック駅(13号線)、サン・プラシード駅(4号線)

K E R I N G



ケリングについて

ケリングはグッチ、ボッテガ・ヴェネタ、サンローラン、アレキサンダー・マックイーン、パレンシアガ、プリーオーニ、クリストファー・ケイン、McQ、ステラ マッカートニー、トーマス・マイヤー、プシュロン、ドド、ジラール・ペルゴ、ポメラート、キーリン、ユリス・ナルダンといった、ファッション、レザーグッズ、ジュエリー、ウォッチ製品を扱う選り抜かれたラグジュアリーブランドを擁するグローバル・ラグジュアリー・グループです。ケリングはまたスポーツ&ライフスタイル・ブランドであるプーマ、ボルコム、コブラも展開しています。シグネチャーである、「empowering imagination イマジネーションをその先へ」とおり、ケリングは想像力を伸ばしていくことで、ブランドがその可能性を最もサステイナブルな方法で実現するよう後押ししています。120以上の国でビジネスを展開、2016年には123.85億ユーロの収入を達成し、グループ社員の数は年度末時点で40,000人に上ります。ケリングはユーロネクスト・パリに上場しています (FR 0000121485, KER.PA, KER.FP)。

Press Contacts

Emilie Gargatte

+33 (0)1 45 64 61 20

emilie.gargatte@kering.com

Astrid Wernert

+33 (0)1 45 64 61 57

astrid.wernert@kering.com

Press Contact for the Pinault Collection

Dimitri Besse

+33 (0)1 42 72 60 01

dimitri@claudinecolin.com

日本でのプレスお問い合わせ先

産形 利恵

+81(0)3 3486.2157

rie.ubukata@kering.com

www.kering.com

www.journeesdupatrimoine.culturecommunication.gouv.fr

Twitter: @KeringGroup

LinkedIn: Kering

Instagram: @kering_official

YouTube: KeringGroup